

Q JAFSAとは？

国際教育交流のプロフェッショナルです

NPO法人JAFSA(国際教育交流協議会)は、1968年に設立され、2003年に特定非営利活動法人(NPO)法人格を取得した非営利団体です。JAFSAは2023年に設立55周年を迎えます。大学・教育機関・企業など約325の団体をメンバーとした、国際教育交流分野では日本唯一・最大のネットワーク組織です。日本の大学のグローバル化促進を支援し、人材育成、海外とのネットワーキングなどの事業を展開しています。

Q JAFSAの団体会員メンバーシップとは？

グローバルマインドあふれる大学・政府系機関・企業など さまざまなメンバーから構成されています

JAFSAの活動は主に国際交流に直接携わる大学メンバーが実施しています。また、政府系機関、在日海外公館、各種教育機関、企業(ソーシャルビジネスパートナー(SBP))などさまざまなジャンルの機関から構成され、国際教育交流に深く関わっています。今や高等教育のグローバル戦略において、大学のみならずオールジャパンとして取り組まなければならない状況となっています。



団体会員
大学・高専数
約**230**校



在日海外公館
各種教育関連団体
約**50**団体



賛助会員
(SBP)
約**45**企業



海外フェアへの
年間出展団体
約**100**団体



メーリングリスト読者数
(団体会員・SBP)
5,000以上



来日する留学生の
所属大学カバー率
約**90**%



団体会員/
SGU採択校
32/37校



国内年間イベント
(研修・セミナー)
30回以上

特定非営利活動法人JAFSA(国際教育交流協議会)
URL: <https://www.jafsa.org>



デザイン・編集・印刷製本: 株式会社太平社 (JAFSA 賛助会員)

JAFSA
Japan Network for International Education
JAFSAは2023年に設立55周年を迎えます

特定非営利活動法人 JAFSA(国際教育交流協議会)

団体・事業案内

Diversity, Dynamics, Development



2022年8月発行

事業(1)：グローバルネットワーキング

海外フェアでのブース展開・
セッション発信のトータルオーガナイズで、
日本の大学をプロモートし、
国内外の団体・機関の連携を推進します

JAFSAは、世界各国の国際教育交流団体との連携を図るとともにNAFSA/EAIE/APAIEの3大海外フェアへ参加しています。海外フェアでは、世界各地の国際教育関係者が集い、高等教育関連機関の協力・提携の促進、担当者の研修・育成、ネットワーキング強化などを目的とした、さまざまなイベントが実施されます。ブースを出展している大学・機関のブランド力を高め、大学間同士・国際関係担当者同士が顔を合わせて打ち合わせを展開するのが大きな特徴です(2022年度は対面+オンラインのハイブリッド形式での大会開催)。



STUDY in JAPAN

NAFSA (2023年大会は米国・ ワシントンD.C.にて開催予定)

米国の国際教育交流NPOで1948年に設立され、JAFSAは長年にわたり協力関係にあります。毎年5月末には年次大会が開催され、世界中から約1万人が参加します。JAFSAは2008年度より日本合同ブース“STUDY in JAPAN”を取りまとめて年次大会に出展(ブース出展約50団体)。また2014年度よりJASSO, Super Global University事業と共同でNAFSAのGlobal Partner制度最高位の“Global Adviser”となり日本の高等教育のプロモートに貢献しています。(2022年デンバー大会は3年ぶりの対面+オンラインのハイブリッド開催となり28大学+1機関+JASSOと共に日本ブースで参加)



AIEA (2023年大会は米国・ ワシントンDCで開催予定)

EAIE (2023年大会はオランダ・ ロッテルダムにて開催予定)

欧州の国際教育交流NPOで1988年に設立されました。毎年9月中旬ごろに欧州のいずれかの都市で年次大会が開催され、世界各国より5,000名以上が参加し、ヨーロッパの国際教育交流分野では最大のコンベンションです。JAFSAもNAFSAの年次大会同様、日本合同ブース“STUDY in JAPAN”としてブース出展しています。(ブース出展約20団体)(2022年バルセロナ大会は対面+オンラインのハイブリッド開催となり、JAFSAも17大学+JASSOと共に日本ブースで参加)

APAIE (2023年大会はタイ・ バンコクにて開催予定)

2004年に設立したアジア太平洋地域の国際教育交流NPOで、毎年3月下旬に開催される年次大会には、アジア地域を中心に約2,000名が参加しています。JAFSAは2013年度(2014年3月)より日本合同ブース“STUDY in JAPAN”を取りまとめて出展しています(ブース出展約20団体)。またJAFSA海外フェア奨励金の制度を設け、JAFSA会員大学より若手を中心に研修を行っています。(2022年バンクーバー大会はCOVID-19感染拡大のため対面開催は中止であったがオンラインで開催、日本は大会スポンサーになった)

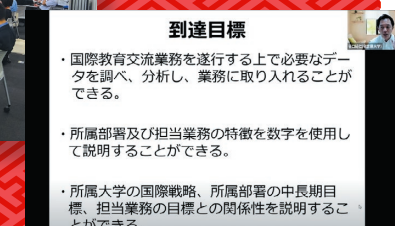
1982年に創設された米国の国際教育交流NPOです。NAFSA、EAIE、APAIEとはカラーが異なり毎年2月に行われる年次大会はセッション中心で構成されます。参加者は約1,000名、全米の高等教育機関から経営や教育方針に関する意思決定者の参加が多いことが特徴です。日本からの参加者も増えており、2020年大会では参加国・地域の中で第5位と、日本のプレゼンスも高くなっています。JAFSAは理事大学を中心に構成したセッション発表で毎年参加しています。

事業(2)：人材育成

国際交流業務に携わる方に向け、
研修・セミナーの企画・運営を行っています



国際教育交流の現状に合わせて、特に会員大学の職員を対象にした研修を実施しています。人気の高い「初任者研修」は大学内で異動の多い春期・秋期を中心に実施しています。ブリティッシュ・カウンシル共催の「英語実践研修」は基礎的な内容から中上級レベルまで間口の広いコースを実施して好評を得ています。「国際共修研修」は意義と仕組みを理解した上で国際共修をどのようにデザインするかを実践的に学びます。また、新たな研修も適宜取り入れているほか、セミナーも定期的に開催しています。



JAFSA主催 テーマ別 研修・ワークショップ

主催研修の定番ともいえる「初任者研修」のほか、レベル別、テーマ別でさまざまな内容の研修を実施しています。いずれも経験豊富な講師を迎え、講義とワークショップを通じて必要な知識と実践力を身に付けることができます。また、他大学・教育機関の担当者と情報交換ができ、人脈形成に大きく役立ちます(いずれもオンライン実施)。

2022年度

- 初任者研修
第1回：5/23-5/24
第2回：6/27-6/28
第3回：7/20-7/21
実施済。以降10/17-10/18、12/5-12/6に実施予定。
- 国際共修
11/11 実施予定。
- その他研修
「危機管理WS」(全2回 4/20・10/25)
「DE&I研 修(仮)」(全2回 10/28・2/17)
- 特別ウェビナー(定期的に開催)
5/25「大学での国際化」、7/27「国際業務とLGBTQ+」実施済。

ブリティッシュ・カウンシル共催 『実践英語研修(全7回)』

英語を使用したビジネス対応力のスキル・アップを図るもので、主に大学の国際担当職員を対象として実施しています。英語を直接使用したグループワークが中心で、学内・留学生とのやり取りや協定校との交渉など現場に即したシーンを想定しており、実践的な内容になっています。英語教授法の資格を持ったネイティブ講師が指導にあたります。

2022年度

- 第1回：5/26 “Introductory Business English”
 - 第2回：7/7 “Supporting Students Face-to-Face, by E-mail and on the Telephone”
 - 第3回：8/4 “Writing for Public Access Communication”
- いずれもオンラインで実施済。
以降9/1、10/13、11/10、12/1に実施予定。

JAFSA共催・協力 セミナー・イベント

国際教育交流におけるニーズは幅広く、また、時代とともに変化しています。そのようなニーズに対応したテーマをもとに、JAFSAでは他団体と共催(あるいは協力)で各種研究会・セミナー・イベントなどを各地で開催しています。

2022年度

【共催・協力】

- 4/20「危機管理・コロナ禍における本格的な国際交流再開に向けての検討」(JCSOS/JAFSA共催)
- 5/11「海外留学オンラインセミナー」(一般社団法人日本旅行業協会主催/JAFSA協力)
- 6/23-24「日加高等教育機関オンライン説明会」(カナダ大使館主催/JAFSA協力)